小中連携スクールプログラムに基づく実践事例

坂出市立東部中学校区
（東部中・東部小）

小中連携あいさつ運動とよい行いを賞賛する場の充実

ねがい

〈 目 的 〉

〇進んであいさつができる児童生徒を育成する。
〇学校や社会のきまりを守り、主体的に行動できる児童生徒を育成する。

つながり

〈 内 容 〉

● 小中連携あいさつ運動

東部小学校は、以前より全校児童が月、水、金の早朝、校内あいさつ運動を行っていました。東部中学校も同じく毎朝、正門前で生徒会役員を中心に有志によるあいさつ運動を実践していました。そこで、小中合同であいさつ運動をすることにより、よりよい人との関わり方を身につけられるのではないかと考えました。それぞれの学校では、毎日毎週のあいさつ運動を今まで通り実施し、合同あいさつ運動は毎月１回早朝に実施することとしました。

第１回目は、７月５日で坂出市役所前で実施しました。あいにくの雨天でしたが、早朝からたくさんの児童生徒が参加しました。第２回目は、９月５日でＪＲ坂出駅前での実施となりました。多くの乗降客が行き交う時間帯で、児童生徒約 50 名があいさつ運動を行いました。「笑顔の種」という花の種を配りながら呼びかけることができました。

第３回目の 11 月５日も坂出駅で合同あいさつ運動を行いました。

【ＪＲ坂出駅での合同あいさつ運動】

● よい行いを賞賛する場の充実

東部小学校では、学校のきまりを守り合う大切さを実感させるために、よくできている児童を賞賛する取組を行っています。具体的には「あいさつ、返事、片付け、よい行い」が進んできちんとできている児童に『缶バッジ』を贈呈しています。また、東部中学校では、自尊感情を高め自己有用感を持たせるために、学校のきまりを守り、清掃や読書に黙々と取り組んでいる生徒や模範となる善行をしている生徒を見いだし「さわやかな若者」として表彰し、賞状やバッジを贈呈しています。子どもたちの良さを認め賞賛することで、よりよい校風を作り上げていきたいです。

東部中
さわやかバッジ

東部小
缶バッジ

【さわやかバッジ、缶バッジ】

高まり

〈 成 果 〉

こうした取組をすることで、今まであいさつ運動にあまり参加していなかった生徒も参加するようになったり、子どもたちの間であいさつ運動に関することが話題にのぼるようになりました。今後は、あいさつ運動に参加する児童生徒が増えたり、児童生徒同士でよい行いを賞賛するような取組を考えていきたいです。